

「青山高原にある風力発電の風車」

名張市内から東の方を望むと、青山高原に、たくさん風力発電用の風車を見ることが出来ます。特に、太陽が西に傾いた、午後には光の反射でよく見えます。

早速、風力発電設備はじつなっているのかと思いい、青山高原まで出向いてみました。



現在青山高原には、株式会社「青山高原ウインドファーム」という企業により、風力発電がおこなわれています。風車の数は全部で60基（総発電量 95,000 k w）約55,000 家庭分の電気を発電しています。

現在、全世界の人類に求められている取組の中に、“カーボンニュートラル”という言葉があります。意味は、人間の生活の中で、二酸化炭素を出す量と吸収する量が同じになるようにすることです。今日、世界的に地球温暖化が心配されていますが、二酸化炭素はその原因の大きな一つとされています。二酸化炭素は、生活の中で空気中に排出され、増え続けていますが、その量をニュートラル（±ゼロ）にしようとする取組がなされています。その一つが、火力発電の代わりになる風力発電です。風力発電はエネルギーを自然界の風を利用しますから、二酸化炭素の排出も「±ゼロ」です。今稼働している発電施設のうち化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）を原料とする火力発電による二酸化炭素の排出を少しでも抑えるためにも風力発電の役割は近年大きくなってきました。まだまだ、発電量は全必



要電力に対してはごくわずかですが、今後カーボンニュートラルに向けて自然エネルギーによる発電の開発は必要不可欠なものだと思います。

風力発電の風車の大きさは地上からの高さが100mを超えます。真下から見るとまるで怪獣の足元にいる気になります。